



誰一人取り残さない宗像市独自の不登校支援

エール・ホープの体験活動で蓄える子どもたちのエネルギー

宗像市の不登校の児童生徒を支援する「教育サポート室エール」と「子どもの自立サポートセンターホープ」の合同企画として、キューピー鳥栖工場やコープファームのミニトマト農園で体験活動を行います。

全国の令和5年度の不登校児童生徒数は、小中学校で令和4年度から15.9%増の約35万人にのぼり、過去最多の状況となる中、両施設は子どもたちの社会的自立の支援として、日常的な農業体験や調理実習、企業や大学と連携した職業体験、ボランティアなどの体験活動を通じて、自己肯定感やコミュニケーション能力、忍耐力を育てています。

エールは教科学習もおこない、学校復帰を目指す施設です。昨年度は55.9%の子どもが何らかの形で学校に登校できるようになりました。一方、令和5年度に開所したホープは、直接的な学校復帰を促さない施設です。ここでは子ども自身が興味のある活動を行い、一人ひとりに合った支援を通してエネルギーを蓄えた結果、自ら登校したり、進学を目指したりするなど行動に変化が表れました。このような宗像市独自の取組が県内外の自治体から視察を受けるなど注目を集めています。

今回の体験活動は生産現場で働く人々の工夫や努力に触れ、働くことの意義や社会との繋がりを学び、子どもたちの成長のきっかけとなることを目的としています。

■エール・ホープの体験活動の概要

日程 10月10日(金)

行程 9:00 エール(メイトム宗像)出発

10:30 キューピー鳥栖工場見学、マヨネーズ作り体験

12:30 朝倉三連水車見学、昼食

13:30 コープファーム(うきは市)にてミニトマトの学習会&農業体験

※日常のエール・ホープの取材をご希望の場合は、担当者にご連絡ください。

日程を調整させていただきます。

■これまでの体験活動の様子



<農業体験>



<調理実習>



<フードパントリー業務体験>

【問い合わせ先】 ※ご取材いただける場合は事前にご連絡ください

宗像市子ども支援課 担当: 横尾、橋本、恵谷(えや) TEL: 0940-36-6912